

感染予防対策には、口腔ケアが重要です。

口腔ケアが感染予防となる**3**つの理由。

- 1.ウイルスが感染するための、酸素を減らせます。
- 2.腸内細菌バランスを整え、免疫力が上がります。
- 3.肺炎のリスクを、下げることが出来ます。

口は、病気を引き起こすウイルスが入って来るカラダの「入り口」です。

お口の中には、粘膜免疫があり、入ったウイルスが粘膜に付着すると、全身の免疫に情報を送り付着した粘膜近くのリンパ組織を介して、ウイルスの侵入を阻止する物質を唾液中に分泌し、素早くウイルスなどの病原体に対応します。

風邪やインフルエンザといったウイルスは、喉や気管の粘膜で増殖します。

お口の中を清潔に保つということは、唾液や口腔内の粘膜の機能が正常に働き、ウイルス感染予防にとっても有効です。

特に唾液は、細菌やウイルスを防御し、口腔内の汚れも洗い流してくれます。

しかし、お口の中が汚れたままだと細菌が増えてしまい、一部の細菌の産み出す物質が、粘膜の防御機能を壊してしまいます。

また、嚥下機能が弱っている高齢の方は、唾液に混ざった細菌が肺の中に入ってしまう、肺炎を引き起こしてしまいます。

むし歯や歯周病を予防するだけでなく、インフルエンザや肺炎といった感染症を予防するためにも、口腔ケアはとても大事です。

プロポリスの抗菌力で感染予防

プロポリスは天然の抗生物質

プロポリスには傷を治し炎症をやわらげる強い殺菌・消毒作用があります。

これ以外にも血液浄化・酸化防止・免疫力増強・麻酔作用があり、関節炎、やけど、アトピー性皮膚炎、ぜんそく、口内炎、のどの痛みにも有効なことが解ってきています。

さらに日常生活で大切な健康分野での研究では、抗生物質とは異なり、細菌やウイルスが耐性をつくらないことがわかり、MRSAによる院内感染防止に期待が寄せられています。